

平成30年度 九州国土交通研究会プログラム

日	時間割	プ ロ グ ラ ム										
第一日 ／ 7月26日 木曜日	9時	30	局 長 あ い さ つ / 局 長									
		35	運 営 に つ い て / 企 画 課 長									
	10時	45	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
		00		00								
	11時	第1会場 (I部門) No.1-No.6 (6課題)		第2会場 (II部門) No.1-No.6 (6課題)		第3会場 (III部門) No.1-No.6 (6課題)		第4会場 (IV部門) No.1-No.6 (6課題)		第5会場 (V部門) No.1-No.6 (6課題)		
	12時	昼 食										
	13時	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	14時	10										
	15時	第1会場 (I部門) No.7-No.14 (8課題)		第2会場 (II部門) No.7-No.14 (8課題)		第3会場 (III部門) No.7-No.14 (8課題)		第4会場 (IV部門) No.7-No.14 (8課題)		第5会場 (V部門) No.7-No.14 (8課題)		
	16時	閉 会										
第二日 ／ 7月27日 金曜日	10時	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
	11時	(I部門) No.15-No.19 (5課題)		(II部門) No.15-No.18 (4課題)		(III部門) No.15-No.16 (2課題)		(IV部門) No.15-No.18 (4課題)		(V部門) No.15-No.18 (4課題)		
	12時	※11:40終了 ※11:20終了 ※10:40終了 ※11:20終了 ※11:20終了										
	13時	昼 食										
	14時	特別講演 『ツタワルドボク～技術と広報があたりまえを創る～』 ／ 一般社団法人 ツタワルドボク 代表理事 片山 英資										
		会場設営										
	15時	講 評 / 各 部 門 審 査 委 員 長										
		審 査 結 果 発 表 / 企 画 部 長										
		表 彰 / 局 長										
	16時	閉 会										

※第一日の開会式と講演会及び第二日の閉会式は第1会場

会場 福岡第二合同庁舎：福岡市博多区博多駅東2-10-7
東福第二ビル：福岡市博多区博多駅東2-9-13

- 第1会場 I部門『安全・安心』 福岡第二合同庁舎 2F共用(第二、第三、第四)会議室
- 第2会場 II部門『地域づくり・観光・景観等』 東福第二ビル 4F(405)会議室
- 第3会場 III部門『アセットマネジメント』 東福第二ビル 1F(第2)会議室
- 第4会場 IV部門『イノベーション』 東福第二ビル 1F(第3)会議室
- 第5会場 V部門『広報活動・事業効果・マネジメント等』
福岡第二合同庁舎 2F共用(第五、第六)会議室

第1会場（1部門）

『安全・安心』

[防災・安全・災害支援]

(第1日目)平成30年7月26日(木)

福岡第二合同庁舎 2F共用(第二、第三、第四)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00~10:18	平成29年7月九州北部豪雨災害でのTEG-FORCE情報通信班の活動報告	企画部	井上 智久
2	10:20~10:38	平成29年7月花月川出水における被災要因および河道計画	筑後川河川事務所	久原 愛加
3	10:40~10:58	九州北部豪雨における流木等緊急回収について	関門航路事務所	吉野 章太郎
	11:00~11:10	発表者入れ替え		
4	11:10~11:28	一人一人が意識し組織が一丸となった災害復旧対応事例紹介	遠賀川河川事務所	深浦 貴之
5	11:30~11:48	推定活断層を踏まえた阿蘇大橋の橋梁設計について	熊本復興事務所	平敷 健太
6	11:50~12:08	平成29年九州北部豪雨における漂流ごみ回収の取組について	熊本港湾・空港整備事務所	朝倉 周
	12:10~13:10	昼 食		
7	13:10~13:28	大規模欠測発生時におけるダムの防災操作体制について	鶴田ダム管理所	熊野 竜之介
8	13:30~13:48	熊本地震により被災した阿蘇長陽大橋の復旧について	熊本復興事務所	堤 祥一
9	13:50~14:08	外国人レンジャーポイント事故対策の取組について	道路部	松本 拓也
	14:10~14:20	発表者入れ替え		
10	14:20~14:38	寺内ダムの操作について～平成29年7月九州北部豪雨対応～	独立行政法人水資源機構	松川 知三
11	14:40~14:58	磯脇橋の災害復旧について	大隅河川国道事務所	大橋 誉典
12	15:00~15:18	国道220号における斜面崩壊発生メカニズムの比較分析	宮崎河川国道事務所	荒崎 聡子
	15:20~15:30	発表者入れ替え		
13	15:30~15:48	熊本地震により被災した桑鶴大橋の復旧について	熊本復興事務所	嶋田 智大
14	15:50~16:08	渓流水調査による深層崩壊危険斜面抽出の検討について	川辺川ダム砂防事務所	大原 崇裕

(第2日目)平成30年7月27日(金)

福岡第二合同庁舎 2F共用(第二、第三、第四)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
15	10:00~10:18	「大規模災害時における河川堤防等の災害緊急連絡路」について	延岡河川国道事務所	川野 恵司
16	10:20~10:38	赤谷川流域における応急復旧工事及び直轄砂防事業について	筑後川河川事務所	上杉 幸輔
17	10:40~10:58	佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議を活用した幹線道路におけるカラー舗装等の安全対策の推進について	佐賀国道事務所	猪井 知明
18	11:00~11:18	航空機のオーバーラン対策は万全～鹿児島空港におけるRESAの取組～	鹿児島港湾・空港整備事務所	江藤 隆文
19	11:20~11:38	逃げ遅れゼロへの取り組み～菊池川流域の防災・減災に向けて～	菊池川河川事務所	倉石 ひかる

第2会場（II部門）

『地域づくり・観光・景観等』

[まちづくり・地域づくり・観光、交通ネットワーク、環境・景観]

(第1日目)平成30年7月26日(木)

東福第二ビル 4F(405)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00~10:18	国営海の中道海浜公園の海浜部における植生の保全及び育成の取り組み事例について	国営海の中道海浜公園事務所	吉瀬 啓史
2	10:20~10:38	博多湾の窪地埋め戻しによる環境改善効果	博多港湾・空港整備事務所	小松 大介
3	10:40~10:58	緑川流域の特性を踏まえた河川整備に向けた取組について	熊本河川国道事務所	梶原 真一郎
	11:00~11:10	発表者入れ替え		
4	11:10~11:28	中島川における歴史的石積と現代工法の融合	長崎県	馬場 太志
5	11:30~11:48	南九州西回り自動車道におけるツル類の環境保全措置の取組状況について	鹿児島国道事務所	鶴丸 巧
6	11:50~12:08	名勝耶馬溪の景観に配慮した機械設備について―山国川床上浸水対策特別緊急事業―	山国川河川事務所	畑迫 勇太
	12:10~13:10	昼 食		
7	13:10~13:28	みやま市の中山間地域における自動運転サービスの実験・検証について	福岡国道事務所	山下 茜
8	13:30~13:48	ビッグデータを活用した通行止め発生時の交通状況分析と情報提供に関する一考察	北九州国道事務所	上 蘭 美咲
9	13:50~14:08	定期航路が輻輳する中での岸壁整備の安全対策について	長崎港湾・空港整備事務所	天本 創一
	14:10~14:20	発表者入れ替え		
10	14:20~14:38	川内川水系かわまちづくりの取り組み(流域全体の地域活性化に向けて)	川内川河川事務所	青木 繁
11	14:40~14:58	松浦川河口部環境整備事業について～合意形成から工事着手まで～	武雄河川事務所	緒方 陽樹
12	15:00~15:18	温泉地域における無電柱化事業の課題と対策	長崎河川国道事務所	古賀 忠直
	15:20~15:30	発表者入れ替え		
13	15:30~15:48	白川・緑川における地域活性化に向けた取り組みについて	熊本河川国道事務所	鳥原 武
14	15:50~16:08	下関港長州出島の大型クルーズ船対応施設の整備について	下関港湾事務所	林 雅夢

(第2日目)平成30年7月27日(金)

東福第二ビル 4F(405)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
15	10:00~10:18	みなとの景観に配慮した官庁施設整備のための地域連携～唐津港湾合同庁舎における「唐津みなとまちづくり懇話会」について～	営繕部	尾形 祥
16	10:20~10:38	唐津港における利活用に配慮した岸壁整備について	唐津港湾事務所	岩切 あすか
17	10:40~10:58	ダムと自然環境を連動させたインフラツアー開発について	立野ダム工事事務所	長尾 潤
18	11:00~11:18	これからの「長崎まちづくり」を考える～長崎都市圏の展望に対する一考察～	長崎河川国道事務所	鈴木 隆太

第3会場（川部門）

『アセットマネジメント』

[維持管理・長寿命化等]

(第1日目)平成30年7月26日(木)

東福第二ビル 1F(第2)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00~10:18	唐津伊万里道路高瀬地区における地滑り対策の一考察について	佐賀国道事務所	成内 萌
2	10:20~10:38	空調設備保守点検仕様書適正化支援と地元業者活用への取り組み	久留米市	西山 真吾
3	10:40~10:58	遠賀川における樋門管理の再構築	遠賀川河川事務所	野口 聡介
	11:00~11:10	発表者入れ替え		
4	11:10~11:28	大型遠隔操縦式草刈機の芝刈用アタッチメント開発について	九州技術事務所	橋住 伸一郎
5	11:30~11:48	球磨川堰下流域における河道管理の検討	八代河川国道事務所	黒木 雄介
6	11:50~12:08	特殊護岸の点検要領策定について	大分河川国道事務所	江藤 弘徳
	12:10~13:10	昼 食		
7	13:10~13:28	佐伯港棧橋式岸壁の固有周期について	下関港湾空港技術調査事務所	加藤 将也
8	13:30~13:48	体験型実習施設(橋梁実モデル)の紹介	九州技術事務所	相川 雅央
9	13:50~14:08	沖田橋の橋梁耐震補強について	延岡河川国道事務所	松岡 昌志
	14:10~14:20	発表者入れ替え		
10	14:20~14:38	熊本地震の災害復旧後における土堤法面の安定性評価について	熊本河川国道事務所	長脇 大将
11	14:40~14:58	川内道路の変朽安山岩について	鹿児島国道事務所	馬場 ひなの
12	15:00~15:18	大分川ダム本体施工中における堤体埋設計器の計測結果について	大分川ダム工事事務所	前蘭 慶樹
	15:20~15:30	発表者入れ替え		
13	15:30~15:48	堤防法面張芝の長寿命化を目指して	九州技術事務所	今村 久代
14	15:50~16:08	国道10号路面下空洞の対応について	宮崎河川国道事務所	八反田 周吾

(第2日目)平成30年7月27日(金)

東福第二ビル 1F(第2)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
15	10:00~10:18	非破壊検査技術による橋梁の第三者被害予防措置について	北九州国道事務所	遠藤 政宗
16	10:20~10:38	立花トンネル補修・補強工事について	福岡国道事務所	永山 宏

第4会場（IV部門）

「イノベーション」

【新技術、コスト削減、創意工夫】

（第1日目）平成30年7月26日（木）

東福第二ビル 1F(第3)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00～10:18	新たな木材需要と官庁営繕工事の魅力創出への期待～CLTパネルを利用した木造庁舎整備の取組み～	営繕部	犬塚 雄介
2	10:20～10:38	浚渫土砂を活用した護岸築堤材について	北九州港湾・空港整備事務所	今長谷 茉里
3	10:40～10:58	AIを活用した洪水予測技術の開発について	九州技術事務所	房前 和明
	11:00～11:10	発表者入れ替え		
4	11:10～11:28	阿蘇大橋地区の恒久的な斜面安定化に向けて	熊本復興事務所	江藤 優太
5	11:30～11:48	船上運用型無人飛行体の開発について～実海域試験の結果と今後の対応～	下関港湾空港技術調査事務所	草野 昂希
6	11:50～12:08	維持管理コスト削減に関する一考察	武雄河川事務所	石田 詩乃
	12:10～13:10	昼 食		
7	13:10～13:28	鶴田ダム再開発事業における既設堤体コンクリート殻を活用したCSG工法の適用について	川内河川事務所	遠山 哲生
8	13:30～13:48	河川管理者が行う水文観測の心得	大分河川国道事務所	吉田 美幸
9	13:50～14:08	携帯端末を活用した水路点検巡視とGISデータベースシステムの開発	独立行政法人水資源機構	丸山 祐輝
	14:10～14:20	発表者入れ替え		
10	14:20～14:38	火山地域における無人化調査に関する中間報告について	九州技術事務所	岡崎 敏
11	14:40～14:58	志布志港防波堤(沖)の整備における工夫	志布志港湾事務所	木之下 天晟
12	15:00～15:18	九州管内空港で初となる静的圧入締固め工法(CPG工法)における現場の管理について	別府港湾・空港整備事務所	平田 真彦
	15:20～15:30	発表者入れ替え		
13	15:30～15:48	大分港海岸における楕円鋼矢板工法の導入についてー液状化を許容した新形式護岸の設計ー	下関港湾空港技術調査事務所	福島 純平
14	15:50～16:08	細島港南沖防波堤のケーソン据付無人化技術を活用した創意工夫について	宮崎港湾・空港整備事務所	安武 輝征

（第2日目）平成30年7月27日（金）

東福第二ビル 1F(第3)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
15	10:00～10:18	新技術の活用促進に向けた取り組みについて	九州技術事務所	久保田 孝行
16	10:20～10:38	国道57号北側復旧ルートにおける二重峠トンネルの早期貫通に向けた取組について	熊本河川国道事務所	中川 量太
17	10:40～10:58	熊本地震からの新技術を活用した災害復旧	熊本復興事務所	森 英高
18	11:00～11:18	フィルダムコアゾーンの施工における品質管理の高度化に関する取組事例	独立行政法人水資源機構	坂本 博紀

第5会場（V部門）

「広報活動・事業効果・マネジメント等」

[アカウンタビリティ・広報活動、事業評価・事業効果・ストック効果、業務マネジメント・業務改善、用地補償、生産性の向上]

(第1日目)平成30年7月26日(木)

福岡第二合同庁舎 2F共用(第五、第六)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00~10:18	電線共同溝事業における電線管理者との工程調整について	福岡国道事務所	今村 舞
2	10:20~10:38	港湾における高潮・波浪推算システムの開発について	下関港湾空港技術調査事務所	濱野 吉章
3	10:40~10:58	熊本復興事務所開所にあたって	熊本復興事務所	中元 達朗
	11:00~11:10	発表者入れ替え		
4	11:10~11:28	苅田港のストック効果について	苅田港湾事務所	光田 隼人
5	11:30~11:48	番匠川水系井崎川の堤防整備の一考察	佐伯河川国道事務所	末次 真梨
6	11:50~12:08	自転車走行環境に配慮した「三連ドットライン」整備効果のETC2.0データを用いた分析～国道220号伊比井地区～	宮崎河川国道事務所	山腰 司
	12:10~13:10	昼 食		
7	13:10~13:28	雲仙・普賢岳の溶岩ドーム崩壊対策に伴う嵩上げ工事経過報告について	雲仙復興事務所	吉田 信也
8	13:30~13:48	大野竹田道路(朝地IC～竹田IC間)水文調査業務の中間報告について	佐伯河川国道事務所	吉次 翔吾
9	13:50~14:08	多数相続における民法第905条第1項の相続分譲渡について	宮崎河川国道事務所	釘宮 智博
	14:10~14:20	発表者入れ替え		
10	14:20~14:38	人材育成！次世代のコミュニケーションツール	大分河川国道事務所	児玉 海
11	14:40~14:58	鶴田ダム警報活動におけるマニュアルの改訂について	鶴田ダム管理所	妹尾 俊樹
12	15:00~15:18	私たちの事業をもっと地域の方に伝えたい～山間部の砂防事業での事例紹介～	川辺川ダム砂防事務所	吉満 清透
	15:20~15:30	発表者入れ替え		
13	15:30~15:48	桜島砂防事業におけるICT土工の実施状況について	大隅河川国道事務所	平島 征治
14	15:50~16:08	小石原川ダム建設工事におけるCIMの活用状況	独立行政法人水資源機構	宮崎 智也

(第2日目)平成30年7月27日(金)

福岡第二合同庁舎 2F共用(第五、第六)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
15	10:00~10:18	本明川における長崎大学学生と連携した取組について～防災教育及び平成30年度創成プロジェクト～	長崎河川国道事務所	下山 慎一
16	10:20~10:38	熱い思いが生んだ今までなかった広報	鹿児島国道事務所	江原 耕一
17	10:40~10:58	都城出張所における広報活動について	宮崎河川国道事務所	中野 翔太
18	11:00~11:18	約束の10年～ダム再生リーディングプロジェクト～	川内川河川事務所	原 僚太郎